

2006 年度

科目名 乳幼児保健学	対象学科・学年 文学部教福3回生 教育教福3回生	担当者 木寺 克彦
授業テーマ 子どもを心身ともに健康でたくましく育てるための科学的基礎について		
授業の概要と目標 子どもの健康は両親の健康状態、母親の妊娠中の条件から既に始まっている。子どもは決して大人の小型化したものではないことを理解し、それぞれの年齢段階で絶えず身体的、機能的に成長発達していることを把握していなければならない。 また、その時々遭遇するいろいろな疾病やその予防、そして、小児期の死因の第一位である事故について、正しい知識を身に付ける。		
評価方法 前期及び後期試験により評価する なお、毎回の出席（小テストの場合もあり）とレポート（年2回ほど課す予定）の点数を加算する		
テキスト 未定	著者	出版社
参考書 新・小児保健	著者 安藤格・一色玄監修 新平鎮博（編著）	出版社 光生館
授業スケジュール・内容 1. 第1部 小児の統計（人口動態 出生率・死亡率） 2. 第2部 社会情勢の変化（女性の社会進出と育児） 3. 社会情勢の変化（核家族化・少子化） 4. 第3部 出生前と母体 5. 先天的な病気、遺伝子病 6. 人類遺伝について 7. 新生児の生理機能と出生時の適応 8. 新生児期の異常と病気 9. 低出生体重児（未熟児） 10. 乳児の身体発育 11. 乳児の生理的機能 12. 乳児の栄養 13. 乳児期によくみる病気① 14. 乳児期によくみる病気② 15. 前期試験 16. 幼児期の形態の発育 17. 幼児期の生理機能と発達 18. 幼児の病気の変遷 19. 学童期の特徴 20. 思春期のからだところ 21. 第4部 子どもの事故と安全対策 22. 第5部 子どものこころ問題（心身障害児） 23. 子どものこころ問題（子どもの虐待） 24. 第6部 予防接種とその変遷 25. 第7部 子どもの救急処置 26. 第8部 母子保健対策 27. 第9部 学校保健 28. 第10部 子どもとスポーツ 29. 第11部 小児の生活習慣病 30. 後期試験		